取扱説明書

セルフロック

SL-10L SL-25L SL- 7H SL-17H SL-30H SL-35H

▲ 警告

- ●ご使用になるお客様は必ずお読みください。
- ●この取扱説明書を大切に保管してください。

遠藤工業株式会社

SM-10001h

アラート・シンボル・マーク 及び警告サインの適用について

この取扱説明書を注意深く読み、その指示に従ってください。

この取扱説明書において、アラート・シンボル・マーク (🛕)及び、

警告サイン(「警告」、「注意」、「留意」)は

それぞれ次のような特別の意味を表しています。



このアラート・シンボル・マークは、この装置の使用に伴いあなたや他の人々に危険をおよぼすおそれのある事項や操作について、あなたの注意を喚起しています。 このアラート・シンボル・マークの付いている指示を注意深く読み、その指示に必ず従ってください。



警告: 死亡または重傷事故の潜在的な危険がある。



注意: 軽傷または中程度の傷害事故が発生する危険があるか、または装置などの 財物損傷のおそれがある。

留 意:装置の運転や保守時における留意事項を示す。

商品の保証と責任の範囲

- 1. 保証期間中の正常な使用において発生した、製造上の責任による本商品の故障は、無償で修理または商品の 交換を行わせていただきます。その際は、ご購入の販売店または当社に問い合わせください。
- 2. 次の場合は保証効力が消滅します。
 - 1) 所有者が変更になった場合。
 - 2) メーカならび代理店・取扱店以外で修理、または改造が行われた場合。
- 3. 保証期間は、本商品のお買い上げ後3年間とします。
- 4. 次の場合は、保証期間中であっても有償修理となります。
 - 1) 誤った使用による故障または損傷
 - 2) 純正部品以外の部品使用に起因する故障または損傷。
 - 3) 火災、地震、天災、地変、その他不測の事故による故障または損傷。
 - 4) 落下、衝撃など、不注意による事故や保存上の不備によるもの。
 - 5) 本商品以外の部品またはその他の機器による原因によって生じた故障または損傷。
 - 6) 消耗品を取り換える場合。
 - 7) 取扱説明書あるいは警告ラベルに明記してある危険・注意事項に違反して使用した場合。
 - 8) その他、メーカ側の責に帰さない原因による故障または損傷。
- 5. 機会損失などの補償責務の除外

保証期間内外を問わず、当社商品の故障に起因する、貴社あるいは貴社顧客など、貴社側における機会損失ならびに当社商品以外への損傷、その他業務に対する保証は、当社の保証外とさせていただきます。

1. ▲ 安全にお使いいただくために

セルフロックの使い方を誤ると、ワイヤロープの断線や本体の落下およびロック機能の損失など、危険な状態になり人身事故の原因となります。

この取扱説明書の注意事項を守り正しくお使いください。

1-1. 取り扱い全般について

🛕 警告

- 取扱説明書および注意銘板の内容を熟知しない人は使用しないでください。
- セルフロックは垂直作業用として使用ください。
- セルフロックを剛体 (人体以外) の落下防止用に使用しないでください。
- 作業開始前の点検は必ず実施してください。 また3年以内毎にメーカーによる定期検査を受けてください。
- 墜落事故を起こしたときや、点検で異常が認められたときは、絶対に使用しないでください。 必ずメーカーによる検査を受けてください。
- セルフロックの分解、改造等は絶対に行わないでください。
- -10℃(ただし内部凍結不可)~+50℃の温度範囲で使用してください。

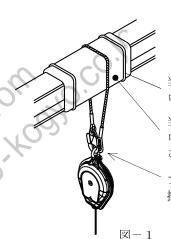
1-2. 据え付けについて

🛕 警告

- ●セルフロックを取り付ける構造物(支持部材)は、墜落時の衝撃荷重に耐え得る強度がなければなりません。 使用荷重の10倍以上の強度を有する構造物に取り付けてください。
- ●頭上の構造物に、スリングロープを介してセルフロック を正しく取り付けてください。 セルフロック本体が頭より低い位置にならないようにし
 - セルフロック本体が頭より低い位置にならないようにしてください。
- ●構造物にスリングロープのフックを掛けることができないときは、スリングロープをまわし掛けしてセルフロックを取り付けます。このとき、フックをスリングロープに直接掛けないでください。

フックはセルフロック本体のシャックルに掛けてください。(図-1参照)

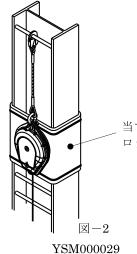
- ●スリングロープをアングルや H 形鋼等、鋭い角のある構造物に直接まわし掛けしないでください。 まわし掛けするときは毛布等を巻き、動かないようロー
- プ等で固定し、スリングロープが傷つかないようにして ください。(図-1 参照)
- ●スリングロープはナイロン製です。溶接や溶断等の火花が、かからないようにしてください。
- ●垂直はしご等の昇降時に使用するときは、最上段にスリングロープを介してセルフロックを取り付けてください。
- ◆セルフロックが周囲の構造物等に接触またはぶつかるお それのあるときは、必ず構造物に毛布等を巻き付け、セ ルフロックを保護してください。(図-2参照)
- ●フックの外れ止めが閉じていることを確認してください。



当て布が動かないようロープ等で固定する。

当て布を巻きスリング ロープを鋭い角に接触 させない。

フックはシャックルに 掛ける。



当て布を巻きセルフロックを保護する。

1-3. 使用上の注意

▲ 警告

- ・水平移動の作業には絶対に使用しないでください。墜落時に横揺れし非常に危険です。
- 作業開始前の点検は必ず実施してください。
- ワイヤロープがたるんだままで使用しないでください。 ワイヤロープにたるみが生じた場合は、少し引き出してから巻き取らせてください。

● セルフロックは必ず墜落制止用器具と併用し、墜落制止用器具のD環にセルフロックのフックを直接取り付けてください。

墜落制止用器具はフルハーネス式を着用してください。ヘルメットも忘れずに着用してください。

- フックの外れ止めが閉じていることを確認してください。
- アングルや H 形鋼等の鋭い角に、ワイヤロープを接触させないでください。作業者が移動するとき、ワイヤロープが構造物に接触しないよう注意してください。
- 引き出したワイヤロープは手を放して巻き取らせないでください。ワイヤロープが急速に巻き取られ、セルフロック本体やワイヤロープが損傷し非常に危険です。
- ワイヤロープを形くずれやキンクさせないよう注意してください。
- セルフロックを投げたり、ぶつけたり、引きずらないでください。
- 作業終了後は、ワイヤロープを必ず本体内に収納してください。
- 屋外に取り付けたまま野ざらしにしないでください。 内部のサビにつながり非常に危険です。
- 高湿や強酸性等の腐食性雰囲気、あるいは粉塵の多い場所等の使用環境の悪い場所では各部のいたみが激 しいので、頻繁に点検を行うとともに、定期検査の期間を短くしてください。

2. 作業開始前の点検



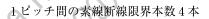
警告

- セルフロックを安全に使用するため、必ず使用前に点検を行ってください。
- 使用前の点検で異常が認められたときは絶対に使用しないでください。 異常が認められたときは必ずメーカーによる検査を受けてください。

■点検項目

ワイヤロープの素線断線および形くずれ、キンク等はないか。

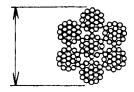






● ワイヤロープが限界寸法をこえて摩耗していないか。

型式	限界寸法(mm)
SL - 10L · SL - 25L	4.18
SL - 7H · SL - 17H SL - 30H · SL - 35H	4.52



- ワイヤロープを手で急激に引き出したとき、確実にロックするか。
- ワイヤロープ引き出し中に異常音はしないか。
- ワイヤロープが確実に収納されるか。
- セルフロック本体、フックおよびシャックル等に亀裂、摩耗および変形はないか。
- フックの外れ止めが正しく動作するか。
- スリングロープに摩耗、ヨリムラ、損傷等はないか。また塗料、薬品等が付着していないか。
- セルフロックを取り付ける構造物 (支持部材) に亀裂、摩耗および変形はないか。

3. 保守、管理について



警告

● 墜落に相当する訓練に使用したり、落下テストを行ったときは墜落とみなし、必ずメーカーによる検査を 受けてください。



- ワイヤロープに異物およびゴミ等が付着しているときは、ウエス等で拭き取ってから巻き取らせてください。
- 長期間使用しないときは、高・低温および高湿の場所を避けて保管してください。
- 管理される方は、点検の結果を添付されている「点検表」に記録し保管してください。 セルフロック本体に次回検査日を表示したラベルが貼付けてありますので、その期日までにメーカーによる 定期検査を受けてください。

4. 仕 様

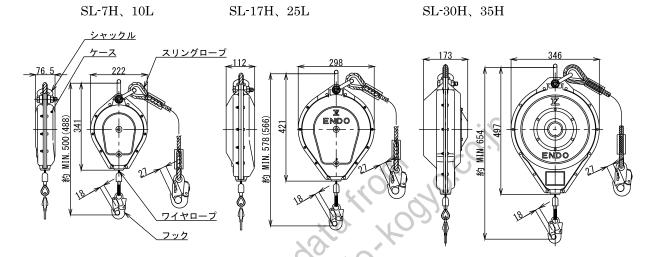
型式	SL-10L	SL-25L	SL-7H	SL-17H	SL-30H	SL-35H
使用荷重	30~100kg	30~100kg	30~120kg	30~120kg	30~120kg	30~120kg
使用ロープ	φ4.4mm (炭素鋼)	∮4.4mm (炭素鋼)	φ4.76mm (ステンレス鋼)	$\phi 4.76$ mm (ステンレス鋼)		<i>ϕ</i> 4.76mm (ステンレス鋼)
ロープ長さ	10m	25m	7m	17m	30m	35m
姓連結部の強さ	13.5kN	13.5kN	15.1kN	15.2kN	12.6kN	12.6kN
能衝擊荷重	6.8kN	6.3kN	6.8kN	6.6 k N	3.8kN	3.8kN
落下距離 ※	0.8m	0.8m	0.8m	0.8m	1.0 m	1.0 m
質 量	6.5kg	13.5kg	6.5kg	13.5 kg	22kg	23kg

(注)性能は、安全帯構造指針に基づいて当社で試験を行った数値です。

※停止距離は落下距離より600mmを引いた値になります。

〈標準付属品〉シャックル、スリングロープ

〈特別付属品〉プルロープ (ロープ長さ10m、17m、28m、32m、35m)



※() 内寸法は、10L、25Lを示します。

5. 定期検査の実施

セルフロックは使用、未使用にかかわらず必ずご購入後3年以内に、その後3年毎にメーカーによる定期検査を 受けてください。

実費を承ります。本器の耐用年数は製造より9年です。

6. 消耗部品

以下の部品は消耗に該当します。

- ・ワイヤロープ (フックを含む)
- ・スリングロープ (フックを含む)
- ・カラビナ
- ・スプリング(ぜんまい)
- ・スプリング (ラチェットばね)

7. 廃 棄



鐅牛

セルフロックの本体にはスプリング(ぜんまい)が入っています。 不用意に本体を分解するとスプリングが飛び出し非常に危険です。

廃棄する場合は、セルフロック内部にスプリングが入っているため、分解するとスプリングが急激に広がり 危険な状態になることを処理業者に連絡してください。

廃棄上分解が必要な場合は弊社に連絡してください。

セルフロック点検表

型式	製造番号	
整理番号	製造年月	

正注用了				/ J		
点検	項目	点検月日				
		点 検 者				
および腐食等	。の素線断線、キン はないか。 ニッチ間において 4					
していないか ※SL-10L,		限界寸法(mm) ϕ 4.18				
③ワイヤロープ 確実にロック	°を手で急激に引き するか。	出したとき、				
④ワイヤロープ	°引き出し中に異常	常音はないか。				
⑤ワイヤロープ	『が確実に収納され	こるか 。		0 0	,	
_	本体、フック、シ :亀裂、摩耗および		110	201/0.		
⑦フックの外れ	止めが正しく動作	するか。	12.0	70		
_	を取り付ける構造 および変形はない		0,00			
_	プに摩耗、ヨリム 料、薬品等が付着		No.			
以上①~⑨の 絶対に使用し	•	が発見されたときは				
きは、ウエス	『に異物、ゴミ等か 等で拭き取ってく 物等を入れないこ	ください。				
2. 使用後の点 ①~⑩の使用前	【 検 「の点検項目と同じ	× 0				
使用しないこ	動したセルフロッ と。 の検査(総点検)					
	ないときは、高・ て保管すること。					

- 〈注〉1. 異常が認められたときは必ずメーカーによる検査(総点検)を受けてください。
 - 2. 本器は使用、未使用にかかわらず必ずご購入後3年以内に、その後3年以内毎にメーカーによる定期検査(総点検)を受け てください。(実費を承ります)
 - 3. 本器の耐用年数は製造より9年です。

図 遠藤工業株式会社

東京営業部

 $\mathbf{2}(0256)62 - 5133$

☎(03)5295−3711

大阪営業部

名古屋営業所

 $\mathbf{2}(06)6568 - 1571$

☎(052)253−6231 九州営業所 ☎(092)412-5281 サービス工場

恒進工業(株)

東京都太田区池上1丁目35-15 TEL(03)3753—2456 FAX(03)3753—8212

図ENDO 遠藤工業株式会社

〒959-1261 新潟県燕市秋葉町3丁目14番7号 https://www.endo-kogyo.co.jp

本社営業部 〒959-1261 新潟県燕市秋葉町3丁目14番7号

TEL: 0256-62-5133 FAX: 0256-62-5772

エコファクトリー

〒959-1276 新潟県燕市小池5181番地1 TEL: 0256-63-9306 FAX: 0256-63-4393

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町12番2号JBSL神田ビル 2F 東京営業部

TEL: 03-5295-3711 FAX: 03-5295-3717

〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1丁目7番14号 パークIMビル 3F 名古屋営業所

TEL: 052-253-6231 FAX: 052-253-6240

大阪営業部 〒556-0021 大阪府大阪市浪速区幸町2丁目3番14号 ダイトービル 3F

TEL: 06-6568-1571 FAX: 06-6568-1573

九州営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3丁目11番15号 文喜ビル 3 F

TEL: 092-412-5281 FAX: 092-412-5280

サービス営業グループ 〒959-1261 新潟県燕市秋葉町3丁目14番7号

TEL: 0256-64-4786 FAX: 0256-62-5772 E-mail: service@endo-kogyo.co.jp

ZENDO ENDO KOGYO CO., LTD.

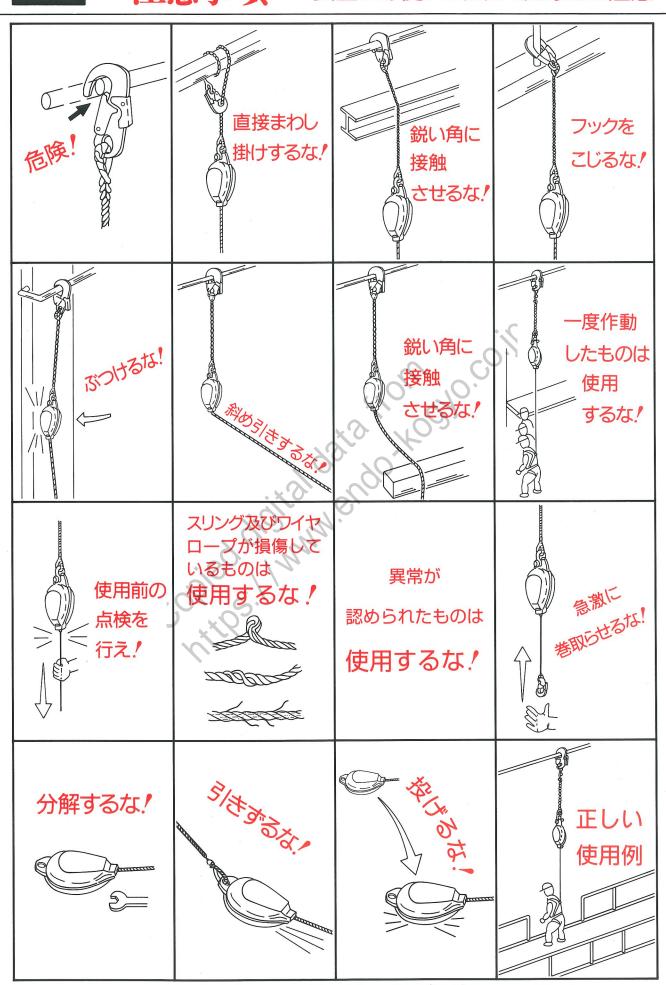
3-14-7, Akiba cho, Tsubame, Niigata 959-1261, Japan https://www.endo-kogyo.co.jp TEL:81-256-62-5133

2023,10,1000 (S)

- ▶本書ならびに本製品の仕様は改善のために予告なしに変更することがあります。
- ●本書の内容の無断転載を禁止します。
- This manual and the specifications of this product are subject to change for improvement without advance notice.
- It is strictly prohibited to reprint or copy any information contained in this manual.

ENDO セルフロック

注意事項 安全にお使いいただくためのご注意



遠藤工業株式会社

SM -10003 a